

【概要】

住宅ローン利用者の実態調査

【住宅ローン利用予定者調査(2021年10月調査)】

I 調査の概要

今後5年以内に住宅を取得する計画があり、かつ、住宅ローンを利用する予定がある方を対象とし、希望する住宅ローンの金利タイプ、住宅取得に向けた意識や行動などについて調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

(参考) 調査実施時期：2021年10月28日～11月4日、回答数：1,500件

II 調査結果の主なポイント

〈〉は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 利用予定の金利タイプでは、「変動型」が増加し、「固定期間選択型」と「全期間固定型」は減少 〈p. 2〉

- ・「変動型」：40.1% (2021年4月調査36.3%)
- ・「固定期間選択型」：32.1% (同33.8%)
- ・「全期間固定型」：27.7% (同29.9%)

2 今後1年間の住宅ローン金利見通しについて「ほとんど変わらない」が約4割となったものの、「現状よりも低下する」が減少し、「現状よりも上昇する」が増加 〈p. 3〉

〈今後1年間の住宅ローン金利見通しについて(全体)〉

- ・「現状よりも上昇する」：30.5% (2021年4月調査24.8%)
- ・「ほとんど変わらない」：40.9% (同40.0%)
- ・「現状よりも低下する」：9.1% (同11.7%)
- ・「見当がつかない」：19.5% (同23.5%)

3 住宅の買い時意識では、「買い時だと思わない」が前回よりも増加した。その一方で、「分からない」は減少し、「買い時だと思う」がやや増加 〈p. 5、p. 6〉

〈今(今後1年程度)の住宅の買い時意識〉

- ・「分からない」：40.5% (2021年4月調査44.7%)
- ・「買い時だと思う」：34.5% (同33.4%)
- ・「買い時だと思わない」：24.9% (同21.9%)

〈買い時だと思う理由〉

- ・「住宅ローン金利が低水準だから」：74.5% (2021年4月調査75.4%)
- ・「税制のメリットが大きいから」：38.0% (同42.7%)
- ・「住宅価格が安くなったから」：25.5% (同25.9%)
- ・「住宅取得促進策が実施されているから」：22.0% (同21.4%)
- ・「金融緩和政策が継続しているから」：15.1% (同19.6%)
- ・「その他」：2.3% (同2.4%)